取扱説明書

High Jet washer

ハイジェット
ウォッシャー

高圧洗浄機

品番：QL-2100NB

この度は、弊社製品をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みになり、ご理解されたうえで
正しくお使い下さい。取扱説明書は、大切に保管してください。

本製品は日本国内においてのみ使用可能です。This product can be used only in Japan

MADE IN CHINA

安全上のご注意　必ずお守りください

商品および取扱説明書にはお使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。次の内容（表示、図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明	
⚠ 警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う事が想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う事が想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
「⚠ 警告」・「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事故は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

⚠ 警告　安全作業のために

■作業場はいつも綺麗にしておく
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

■ 保護メガネを着用する
作業中は、保護メガネを使用してください。

■ 子供の近くで使用しない
近くの人に電動工具やコードに触れさせないでください。
お子様を、作業場に近寄らせないでください。

■無理に使用しない
安全に能率よく作業するために、電動工具の性能に合った速さで作業してください。

■感電しないようにする
電動工具を使用中にアースされているものに身体を接触させないでください。
（例：パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など）

■作業は相応の服装で行う
サイズの大きい衣類やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
長い髪も、作業中に巻き込まれる恐れがありますので、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

■作業場の周囲状況も考慮する
電動工具は、雨にさらしたり湿った場所でのご使用はやめてください。
作業場は十分に明るくしてください。
可燃性の液体やガスのある近くで使用しないでください。

■ 不意な始動は避ける
電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

■ 使用後は安全な場所に保管する
乾燥した場所でお子様の手の届かない安全な場所に保管してください。

■ 次の場合は、電源工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く
使用しない、または修理するとき。
その他の危険が予想される場合。

■ 無理な姿勢で作業をしない
しっかりと足を踏ん張り、バランスを保つようにしてください。

■ 油断しないで注意しながら作業する
電動工具を使用する場合、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
病気だったり、疲れているときは使用しないでください。

■ 正しい付属品やアタッチメントを使用する
この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

■ 製品の修理は、専門店に依頼する
この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

■防音保護具を着用する
騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆いなどの防音保護具を着用してください。

■コードを乱暴に扱わない
コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
コードを熱、油、角がとがったところに近づかないでください。

■ 製品は、注意深く手入れする
注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
コードは定期的に点検し、損傷している場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
握り手は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

■レンチなどは、必ず取り外す
電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

■屋外使用に合った延長コードを使用する
屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

■ 損傷した部品がないか点検する
使用前に部品に損傷がないか充分に点検し、正常に作動するか、または所定機能を発揮するか確認してください。
可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例である騒音規制以下でご使用になる恐れがありますので、必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

高圧洗浄機のご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、高圧洗浄機をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項をお守りください。

⚠ 警告　ご使用にあたって

■ 規定電力を必ず守る

表示を越える電圧で使用すると、過付荷よる発熱、火災の原因になります。

■ 本体に水をかけたり、雨中で使用しない。またぬれ手で、電源プラグやコードに触れない

感電の恐れがあります。

■ 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する

他の器具を併用すると、分枝コンセントが発火炎上する場合があります。

■ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に電源スイッチが OFF になっていることを確認する

コンセントに差し込んだと同時に電源スイッチが入り、けがの原因になります。

■ 製品の使用定格時間は 1 時間です 1 時間 以上の連続使用はしない

モーターの異常加熱などで故障する恐れがあります。

■ 製品は水道直結型です

水道の蛇口から水を供給してください。
水道水以外は使用しないでください。

■ ガソリン、オイル、有機溶剤などの可燃性液体や有害液体、その他の不適切な液体は使用しない

水道の蛇口から水を供給してください。
水道水以外は使用しないでください。

■ 洗剤は中性洗剤のみ使用する

それ以外の洗浄剤または化学薬品を使用すると、機械の安全性に悪影響を与えることがあります。

■ 高圧ホースと本体の接続部分は、リングを手で回し、確実に締付ける

確実に締まっていない場合は、作業中に脱落し、高圧水が吐出され、けがの原因になります。

■ 延長コードを使用するときは、機械の能力に合った、充分な太さの延長コードを使用する

■ 水の圧力を確かめるために、噴射している水に手を当てることは、絶対にしない

非常に高圧の水が噴射しているため、けがの原因になります。

■ ガンのレバーを、ひもや針金などで固定して使用しないでください。

とっさのとき、噴射を停止することができず、けがの原因になります。

■ 両手でガンをしっかり握り、安定した体勢で使用する

確実に保持していないと、バランスを崩し、けがの原因になります。

■ 噴射の方向に人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などがないことを確認してから作業する

確実に保持していないと、バランスを崩し、けがの原因になります。

■ 衣服または履物類を洗浄するために、ノズルを自分自身または他人に向けない

高圧水が噴射され、けがの原因になります。

■ 対象物に損傷が生じる恐れがある場合は、目立たない所で試してから使用する、ノズルからの距離を置いて様子を見ながら洗浄するなど慎重に作業する

バイクやお車などにラベル、シールなどが貼ってある場合は、十分注意してご使用ください。ラベル、シールの状態によっては、はがれる恐れがありますので、その部分は避けてご使用ください。
タイルやコンクリート等の床や壁を洗浄する際は、タイルやコンクリート等がはがれる恐れがあります。またはがれたタイルやコンクリート等が、人や動物、物に飛んで当たる恐れがありますので、十分注意して作業してください。

■ 車のタイヤを洗浄するときには、ノズル先端から最低 30cm 以上離して洗浄する

接近しすぎた場合、タイヤを損傷し、重大事故の原因となる場合があります。
損傷、または表面の色が変色した場合には、直ちに専門家に点検を依頼し、安全を確認した後、使用してください。

■ 車などの足まわりなどを洗浄するときは、グリス塗布部やカバー部分などに直接噴射しない

グリスなどが流れ落ちたり、損傷や重大事故の原因となる場合があります。
時々グリスアップなどの点検をしてください。

■ 作業を中断するときや付属品を交換するときには、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く

誤ってガンのレバーを握ると、けがの原因になります。

■ 電源スイッチを切った後は、ガンのレバーを握り、圧力を抜いてください。圧力が残っていると、ガンから高圧な残水が噴射され、けがの原因になります。

ノズルの噴射口が人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などに向いていないことを確認してから圧力を抜いてください。

■ 使用後、または停電のとき、点検・整備するとき、長時間離れるときには、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く

けがの原因になります。

■ 子供に使用させない

保管する際は、子供の手の届かない所へ保管してください。人や物等乗せないでください。けがや故障の原因になります。

⚠ 注意

■ 本機は水のかからない、水平で安定した場所に設置する

故障の原因になります。

■ 本機を誤って落としたりぶつけたりしない

故障の原因になります。

■ 車の洗浄は、バリアブルノズルランスを拡散側にして使用する

水圧により塗装面を傷めたり、ラジエターの破損、モール類のはがれの原因になることがあります。

■ 噴射の際は、ラベル類周辺などに直接噴射しない

水圧により、ラベル類がはがれる原因となることがあります。

■ 凍結から本機を守るために、5℃以下になる場所には保管しない

水が凍り、故障の原因になります。

■ 作業中の本体設置場所に注意する

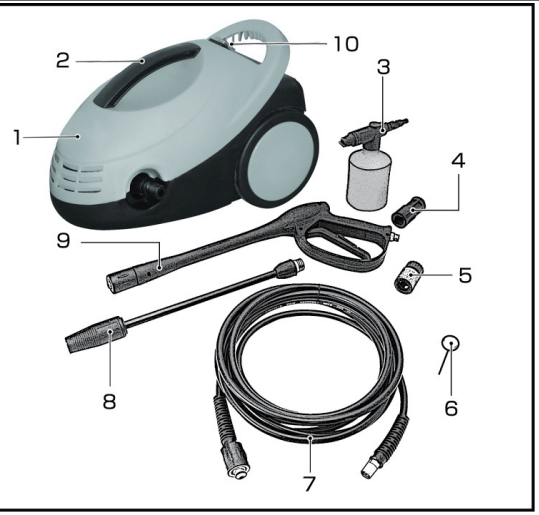
本体から少量の水漏れ(1分間に数滴程度：異常ではありません)が発生することがあります。

各部の名前・付属品

箱を開けたら、以下の物が揃っていることをご確認ください。

⚠ 注意

付属品は、高圧により外れないよう、”キツイ”設計になっております。給水ホースからジョイント取付け、本体の取付けで強い力を加えないと装着できませんので、予めご了承ください。装着が緩いと、部品が吹き飛んだり水漏れの遠因となります。



1. 本体
2. ハンドル
3. 洗浄ボトル
4. 洗浄ボトルコネクタ
5. クイックコネクタ
6. ノズル洗浄プラグ
7. 高圧ホース
8. ガンノズル
9. ガンハンドル
10. 電源スイッチ

※本製品は、自動車、バイク等の屋外施設や庭園や家屋等の清掃に使用できます。

取り付け方法

※接続部に、泥や汚れがある場合は、取り付け前に拭き取ってください。
※取り付け後、ホースを左右に振りすぎると外れることがあります。
※取り付け後、水が漏れるときは、接続部分をしっかりと締めてください。

トリガーガンとガンノズル

・トリガーガンとガンノズルを図１の方向に接続します。

トリガーガンと洗浄ボトル

・トリガーガンと、洗浄ボトルコネクタをきつく回し入れ、洗浄ボトルをコネクタに接続します。

トリガーガンと高圧ホース

・図１で接続したトリガーガンに、高圧ホースを図２の方向に入れ、六角ナットを手で回し入れます。その後、六角レンチでしっかり締めます。
→六角レンチは付属していません。

図１

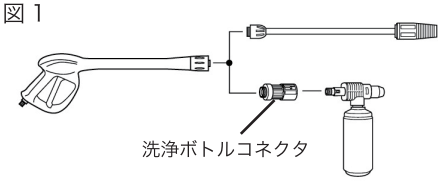
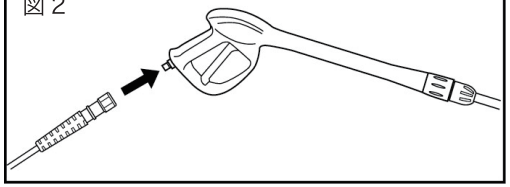


図２



⚠ 警告

●高圧ホースを本体から外す場合は、電源スイッチを切り、ガンのレバーを握り、圧力を抜いてから外してください。
●ノズルの噴射口が人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などに向いていないことを確認してから圧力を抜いてください。

本体と高圧ホース

・図３のように、高圧ホースを本体に差し込み、回し入れます。
→ホースが取り付けにくい場合は、接続部を少し水で濡らすと取り付けやすくなります。

本体とクイックコネクタ

①クイックコネクタを給水ホース側に押して、しっかりと接続します。
②本体のコネクタ差し込み口にクイックコネクタを位置決めします。
③クイックコネクタを本体側にしっかりと押しこみます。

図３

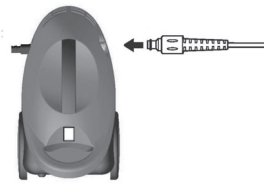
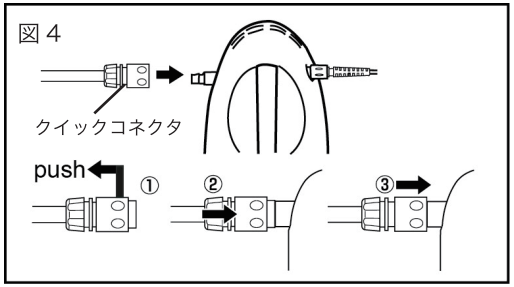


図４



使用方法

手動の準備

1. 電源プラグを一般家庭用(単相交流100V)の電源コンセントにさし込んでください。
2. 水道の蛇口をゆるめ、全開にします。

※注意　水道量は5.5L/min 以上必要です。

3. ガンのレバーを握って、ノズル先端から水を出してポンプ内部の空気を完全に抜いてください。
ノズル部から水がスムーズに出るようになったら、ガンのレバーを握ったままで電源スイッチを入れます。

※注意　ポンプ内部に空気が残った状態で電源スイッチを入れると、故障の原因になります。

4. ガンのレバーを握って洗浄作業を行ってください。ガンのレバーを放すとモーターが停止します。
再びガンを握るとモーターが回転し、水を噴射します。

※注意　放水開始時は、ポンプ内に溜まった空気と一緒に放水されるため、水の出方が不安定になることがあります。
その際は、安定するまで出し続けてください。
本体のそばを離れるときは、必ず電源スイッチを切ってください。

洗剤噴射ノズルの使用方法

⚠警告

●付属品を取替えるときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。

●酸性、アルカリ性洗浄剤は使用しないで下さい。
洗剤は中性洗剤のみをご使用下さい。それ以外の洗浄剤や化学薬品を使用すると、機械の安全性に悪影響を及ぼすことがあります。

1. ノズルに給水パイプを差込んで下さい。
2. 洗剤タンクに原液の液体洗剤を入れます。
洗剤タンクの取付けはP6の「取り付け方法」に従って操作して下さい。
3. ガン凹部に洗剤噴射ノズル凸部の形状を合わせ差込んで下さい。

※注意　ガン凹部と遷座噴射ノズル凸部にゴミや泥がついていないか確認して下さい。

4. 洗剤噴射ノズルをガン側に押し付けたまま、洗剤噴射ノズルを右にまわして、固定します。
→ P6の「取り付け方法」に従って操作して下さい。
5. 洗剤噴射ノズルを洗浄対象物に向け、ガンのレバーを引くと、洗剤が水と混ざり噴射されます。
6. その後、洗剤を十分に洗い流して下さい。

終了

1. 電源スイッチの電源を切ります。
2. 水道の蛇口を締めて下さい。
3. **ノズルの先端から水が出なくなるまで、ガンのレバーを握って下さい。**
4. 高圧ホースを本体より外して下さい。
5. ご使用後、本体・ホース・ノズルガンに余水が残って流れ出る場合がありますので、思わぬ水濡れにご注意下さい。

※使わない時は、下の図のトリガーロックを矢印方向に上げて下さい。(トリガーがロックされます。)

お手入れ方法

保守と点検

⚠警告

●保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いて下さい。不意の始動による怪我の原因となります。

ノズルクリーナーピンについて

ノズル

付属品のノズルクリーナーピンで定期的にノズル穴の掃除を行って下さい。ノズルが詰まっていると水の出が悪くなり、十分な性能を発揮できません。

ノズルクリーナーピン

※注意　ノズルが詰まっているかどうかは、必ずノズルをガンから取出した状態でノズル穴をのぞき込み、穴が通じているかを確認して下さい。

フィルタの清掃

①給水コネクタを緩め、取外します。
②フィルタを取出し、水で網目のつまりを取るように洗います。
③フィルタを元の位置におさめて、給水コネクタを取付けます。

各部取付けネジの点検

ネジなどのゆるみが無いか確認して下さい。もし、ゆるみがあるときは締め直して下さい。

使用後の手入れ

●油汚れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいて下さい。乾いた布か石鹸水をつけた布で本体を拭いて下さい。
●ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないで下さい。

保管する場合

保管の際は以下にご注意下さい。
●凍結する場所には保管しない。
●冬季では、出来れば暖房の入った５℃以下にならない場所で保管する。
●埃の少ない場所に保管する。また、給水口、排出口にゴミが入り込まないようにキャップしておく。

凍結防止のために
①高圧ホース、給水ホースを取外し、高圧ホース接続口を下にして電源スイッチの「I」側を1～2秒間押して接続口よりポンプ内に残っている水を出来るだけ排出して下さい。2秒以上スイッチを押したままにすると、故障の原因になります。すみやかにスイッチをOFFにして下さい。

長期保管

以下の場所では保管しないで下さい。
●霜や氷のつく寒冷所
●埃の多い湿った場所

また、長期保管された後は機器内部に異物がこびりついて再始動しにくくなる可能性があります。その場合は、スイッチを切って電源コンセントを抜いて下さい。

仕様

品番	QL-2100NB
定格電圧	100V 50/60Hz
消費電力	1400W
サイズ	38×21.5×24.8cm
作動圧力	7MPa
最大圧力	約 10MPa
作動流量	5.5L/min
連続使用時間	約 1 時間
モーター様式	カーボンブラシモーター
給水最大水温	60℃
材質	ポリプロピレン、アルミニウム
セット内容	本体、高圧ホース (6m)、ガンノズル ガンハンドル、クイックコネクタ、 洗浄ボトルコネクタ、ノズル洗浄プラグ、 取扱説明書

トラブルシューティング

症状	原因	処置
スイッチを入れても動かない	−電源コンセントが電源プラグから抜けている。 −延長コードが途中で切れたり、断線している。 −ガンのレバーを握らないでスイッチを入れている。	−電源プラグをコンセントに差しこんで下さい。 −延長コードを取替えるか、または他の電気用品で試してみて下さい。 −ガンのレバーを握ったままスイッチを入れて下さい。
勢いよく水が出ない。または、水の勢いが変わる。	−水道の蛇口を全開にしていない。ノズルが詰まっている。 −ノズルが消耗している。 −給水コネクタ部のフィルタにゴミがつまっている。 −ホースやコネクタの接続部から水漏れが発生している。（使用開始時は本体内やホースに空気がたまっているため水の出が不安定になることがあります。） −たこ足コンセントを使用している（過電流がかかっている）。電子レンジやドライヤーなどの消費電力の大きい家電を同時に使用している。 −規定電力外で使用している。	−全開にして下さい。ノズルクリーニングピンでノズル穴をお手入れして下さい。 −ノズル交換する。 −フィルタのゴミを取除いて下さい。 −接続をやり直して下さい。または販売店へご相談下さい。本体内やホース内の空気が抜けるまで水を出し続けて下さい。 −たこ足コンセントをやめ、定格15A以上の電源コンセントに単独で使用して下さい。消費電力の大きい製品と同時に使用しないで下さい。 −指定の電圧でご使用下さい。
ブレーカーなどでオーバーロード保護装置がかかる。	−ガンのレバーを握らないでスイッチを入れている。 −延長コードの太さが細すぎる。 −延長コードをリールに巻いたまま使用している。	−ガンのレバーを握ったままスイッチを入れて下さい。 −十分な太さの延長コードをご使用下さい。 −リールに巻いているコードを全て引き出して使用して下さい。
ガンのレバーを離してもモーターが止まらない。	−給水コネクタ内のパッキンが欠品している。または、ネジ山が傷んでいる。	−販売店へご相談下さい。
給水コネクタから水漏れする。	−給水コネクタがよくしまっていない。 −水道ホースやジョイントの近くが曲がっている。	−給水コネクタを交換して下さい。 −給水コネクタをネジ山に合わせて強く締め込んで下さい。ジョイントに曲げる力が加わらないようにまっすぐに水道ホースを設置して下さい。
給水コネクタ以外の水漏れがする。	−水漏れ箇所を確認する。	−ホースやガンの接続部を締め直して水漏れ箇所を修理して下さい。または販売店へご相談下さい。